

PFI (BTO方式)		京都御池中学校・複合施設整備等事業《京都市(京都府)》		
人口:約142万人				
<p>■概要</p> <p>・京都市立京都御池中学校、乳幼児保育所、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センター、オフィススペース、拠点備蓄倉庫及び御池通の賑わい創出に資する施設による複合施設を整備し、維持管理・運営を行う事業。</p>				
<p>■事業実施の経緯</p> <p>・市では、市内中心部の3校を統合し、既存中学校校舎を活用して、平成15年4月に京都御池中学校を開校した。この統合に伴い、集約化した中学校の敷地に、新しい時代の教育に対応できる京都御池中学校の新校舎を整備することとした。</p> <p>・本施設の整備に当たっては、敷地の立地条件を活かし、教育及び福祉の充実はもとより、都心部の活性化に寄与すること、都心部のまちづくり、ひとづくりの拠点施設となることを目指し地域に必要性の高い老人デイサービスセンター、在宅介護支援センター、保育所、また、オフィススペース、賑わい施設等を併設する施設として複合的に整備を行うこととした。</p>				
<p>■PPP/PFI手法導入のポイント</p> <p>・本事業の実施に当たっては、昨今の社会経済状況下におけるコスト削減の必要性に加え、大規模複合施設を総合的に整備し、将来にわたって管理していくために適した手法という観点から検討を行い、民間事業者の発想や活力を取り入れたPFI手法を導入することとした。</p>				
《事業データ》				
施設規模	敷地面積:8,387.28㎡ 延床面積:約20,000㎡			
	京都市立京都御池中学校、乳幼児保育所、老人デイサービスセンター、地域包括支援センター、オフィススペース※、拠点備蓄倉庫、賑わい施設、観光トイレ等 ※中学校の生徒増に伴い、平成23年度からオフィススペースは教室に転用			
事業方式	PFI(BTO方式)			
事業類型	サービス購入型			
事業期間	平成16年5月～平成33年3月(約17年) (設計・建設:2年/維持管理・運営:15年)			
官民の役割分担	<p>【公共の業務】</p> <p>・中学校の運營業務等</p> <p>【民間事業者の業務】</p> <p>・京都御池中学校・複合施設の設計及び建築業務</p> <p>・維持管理業務(保守管理、清掃 等)</p>			
	<p>〈業務分担のポイント〉</p> <p>・中学校の運營業務は市が、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センターの運營業務は市が選定した社会福祉法人が行う。</p> <p>・乳幼児保育園は民営保育園が市の土地、建物の貸付を受け、運営する。</p>			
事業費	約63億円(提案金額)			
VFM	特定事業選定時	10.0%	事業者選定時	29.8%
事業者	◎ダイヤモンドリース(株)			
◎は代表企業 ◆は地元企業	【協力企業】ダイヤモンドリース(株)、(株)類設計室、(株)竹中工務店、(株)松村組、(株)リンレイサービス、(株)アサヒファンリティズ			
応募グループ	5グループ			
スケジュール	平成15年5月	実施方針公表		
	平成15年10月	特定事業の選定		
	平成15年11月	入札公告		

	平成16年3月	落札者決定
	平成18年3月	供用開始
活用した制度等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の統合校舎等の新增築事業(文部科学省)</li> <li>・学校体育諸施設整備事業(文部科学省)</li> </ul>	
<p>■ PPP/PFI 手法導入の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都心部にある立地条件を活かし、地域社会との交流・共生をテーマとした、中学校と老人デイサービスセンター等の複合施設の整備が実現された。</li> <li>・「中学生と乳幼児及び高齢者との相互交流による心のふれあいを実現し、京都のメインストリートである御池通の活性化に大きく寄与し、都心部における人づくり、まちづくりのモデル施設として、また、デザイン面においても伝統と創生のまち京都に相応しい施設を整備する」という事業目的に合致した複合施設が整備できた。</li> <li>・複合施設全体の維持管理業務をまとめて民間事業者任せることが可能となり、各施設の運営者は、運営業務に専念することが可能となった。また、従来手法では対応が難しかった複合施設の共用部分の維持管理についても民間事業者任せることができた。</li> </ul> <p>■ 地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者の提案に基づく商業施設を御池通に面して配置することにより、京都のシンボル通りである御池通の活性化に寄与することができた。</li> </ul>		
		
(出所)京都市資料		
<p>■ 参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(京都市HP) <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000042608.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000042608.html</a></li> </ul>		